



## 水はあって当たり前？

通水を契機に本市の農業は飛躍的な発展を遂げます。そして今では日本一の農業のまじと呼ばれるまでになりました。

こうした中、いつの間にか水はあって当たり前ものになっていきます。しかし、それは本当に当たり前なのでしょうか？

豊川用水は通水してまだ50年しか経っていません。しかし、通水以降に生まれた方が主に農業を営むことも増えた今、通水以前はどれほど農作物を育てることが大変であったのか、また通水を実現するためにどれほどの苦難があったのか、知る方も少なくなりました。

今回は豊川用水通水50周年の節目を迎える今だからこそ、あつて当たり前に感じる水の大切さについて考えてみたいと思います。